

市民のうごき

昭和57年2月末現在

人口	39,674人	(+10)
男	18,963人	(+2)
女	20,711人	(+8)
世帯数	12,117世帯	(+5)
面積	240.93平方キロメートル	

昭和57年 広報

4月号

おおす

No.313

昭和57年4月1日発行

発行 大洲市役所

編集：市長公室



春雨に煙むる梅川地区

標高300mの大洲

③ 南久米・梅川地区

市街地の南、野村町に隣接しているのが梅川地区です。

昔、この地区に香りの高い梅の木があり、その芳香が城下まで達したそうです。それで、この梅の木を城内に移すことになりましたが、道がないため川を流して移したことから、「梅川」という地名になったそうです。

しかし、この梅の木は、川を流したため、根が切れ、城内では、開花しませんでした。

梅川には、今でも古来の習慣が残っており、地区内での賀状の交換をせず、元日の十時に天神社に集まり、新年のあいさつを交わします。

現在、この地区には、三十八世帯、百五十一人が生活しています。広域農道、県道の改良が済めば、市街地まで十五分で行けるようになります。

今月の納税 ▶ 例年4月の固定資産税の第一期は、今年度に限り5月です



非行の芽は、「赤信号」になる前に摘み取るように

少年非行

進む低年齢化

13〜16歳で約七割

赤信号になる前に対策を

連日のように新聞紙面では、青少年の非行、校内暴力、家庭内暴力のニュースが報じられています。

子供が非行に走るには、種々な原因が考えられます。その一つに家庭の環境が考えられます。親の一人ひとり、子供たちの「心の風景」を的確につかんでいるでしょうか——このことが家庭教育の基本であり、子供を理解する第一歩といえます。

大洲市教育委員会が実施した「健全育成に関する意識調査」を中心にして、現代の親と子供像について考えてみましょう。

少年非行の現況

大洲署管内の少年非行の状況をみてみますと次のとおりです。

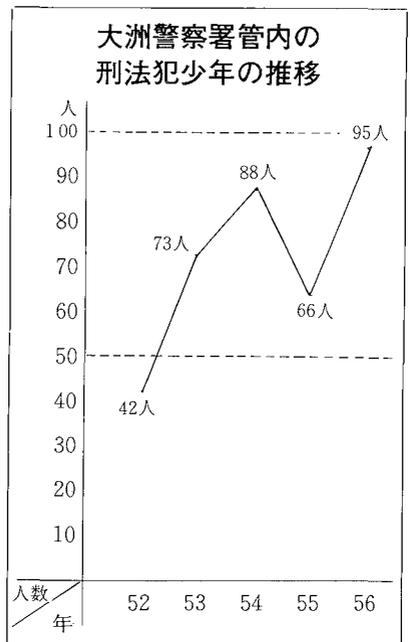
刑法犯少年の増加

昭和五十六年の刑法犯少年（刑法に触れる罪を犯かした二十歳未満の少年）は、九十五人と大幅に増加しました。

これを年齢別に見ますと、最も多いのが十六歳の三十八人、次いで十三歳の十八人となっています。十三歳から十六歳までで、全体の約七割を占めています。このように、低年齢化、とりわけ中学生の非行増加が一層目立ってきたのが、最近の特徴的な傾向です。

非行の種類で最も多いのは窃盗で九十件、九十五%です。単純な動機で万引きをしたり、自転車などを盗む、いわゆる「遊び型非行」が依然として目立っています。また、昨年高校生三十二人が下校時の汽車、バスの待ち時間を利用して万引をするというようにグループ化が目立っています。

大洲警察署管内の刑法犯少年の推移



親と子の意識調査

子供が事件を起こしたとき、たいていの親が「まさか、うちの子が」とか「うちの子に限って」と言います。わが子のふだんの行動を知らない親が多いのには、驚かされます。子供の行動すらの確につかんでいないのですから、まして、子供が今、何を考え、どんな遊びをし、どのような将来の夢を描いているのか知るよしもありません。

子供の意識と親の意識の間には相当の開きがあります。子供たちが何を考え、何を求めているのかわからなければ、教育のしようもありません。子供と親の意識を対照し、その中から教育の方向や手段を見つけ出さなければなりません。

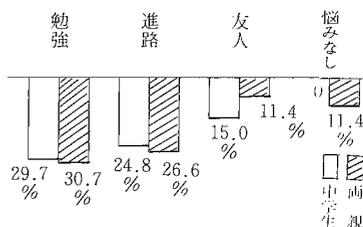
そうした観点から、先頃まとまりました「健全育成に関する意識調査」は、次のようになっています。

親と子の意識の「ずれ」

▼悩みについて

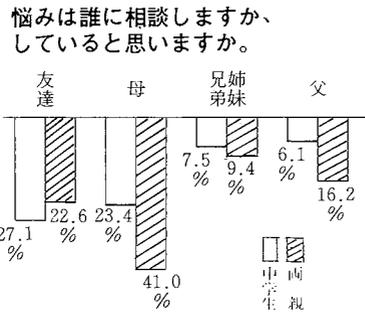
市内の中学生とその両親についてみますと――

どんな悩みを持っていますか、持っていると思いますか
(市内の中学生の場合)



子供は、直接、間接何らかの形で親に悩みを表現しています。それを見抜き、子供の悩みを理解し適切に対処することが大切です。しかし、親の中には、自分の子供には、悩みがないと答えた人が十人に一人もいます。日々の「親子の対話」を大切にしたいものです。

▼悩みを誰に相談しますか
市内の中学生とその両親についてみてみますと——その悩みの相談相手は……



子供は、親が考えているほど悩みを家族に話していないようです。自分と同じ考えや悩みを持っている友達に最も多く相談します。親の側としても、子供が何でも気軽に相談できるように雰囲気があるかどうか、考えてみましょう。

子供はどう考えているか

▼あなたは、マーケットなどで万引きをすることをどう思いますか？

- 1、どろぼうと同じだから、すべきではない 47%
- 2、万引きしてまで、手に入れようと思わない 44%
- 3、見つかったら、親や先生にしかられるからしやうと思わない 5%
- 4、スリルがあり、見つからなけ

- れば、少しぐらいしてもよいと思う 1.5%
- 5、見つかったときは、お金を払えばよいと思う 0.3%
- 6、大勢と一緒にすれば自分もするかもしれない 1.9%

このデータから見ますと、万引をする可能性がある子供が、約9%もいます。万引は、遊び型非行の典型です。興味本位や欲望のままに行動しようとする子供に対しては、善悪の判断力や正しい価値感をも身につけさせる必要があります。

▼あなたは、暴力についてどう思いますか？

- 1、どのような理由があっても悪いことだ 40%
- 2、正当な理由がある場合はやむを得ない 52%
- 3、相手が自分の考えをわかってくれない時は、やむを得ないと 3.2%
- 4、不平不満があるとき暴力をふるいたいと思うことがある 4.9%
- 5、他人にはいけないが家族ならかまわない 0.3%

暴力否定は四十%で、肯定は五十九%にも達します。暴力肯定の意識を持っている子供に対しては、人間尊重の立場から暴力を認めず、暴力を許さない態度を育てる必要があります。

非行の兆しを知る

調査資料が示しますように、親が抱いている「現代の青少年像」と現実の青少年には、かなり開きがあるようです。子供を理解することが、「非行防止」への第一歩です。

少年たちは、ある日突然、非行に走るわけではありません。注意していれば必ず見いだせる「前触れ」があります。

例えば、子供の言葉遣いや態度に変化が見られた場合です。何かというと、投げやりな言葉を吐いて、まじめな生き方を軽蔑するような態度を見せたり、すぐに分かるようなうそを言って、それが親や先生に知れても平気というような様子が見られる時などは、非行化への注意信号がともっていると考えられます。

また、親の知らない友達がいっの間にか増えていて、名前を聞いてもあいまいな返事をするとか、外出や帰宅時間がはつきりしくなってきたりすることなども、要注意です。そのほか、食べ盛りなのに、夕食に手を付けないことが増えたようなときは、学校帰りにスナックなどに寄り道している場合が多いようです。

生活時間をキチンと守らせ、友達づきあいについても、時には親同士が連絡をとって確認し合うなど、子供の生活の輪郭をしっかりと

つかんでおくことが大切です。



一方、非行に向かう初期の段階で、少年たちのほとんどが喫煙を経験します。ポケットにたばこが入っていたり、においがするようなどきは、要注意です。もし、近所の少年がたばこを吸っている姿を見かけたなら、ひと声かけて注意してほしいものです。

このように、非行に走る前には、必ず「前触れ」があります。その前触れの黄色の信号が、「赤」になる前に、親としては、対策を講じたいものです。それは、その時だけの親と子の対話ではいけないかもしれません。気を長く持ち、子供の心の風景を理解すべく、親子の対話を繰返したいものです。地域においても、通学路にあるポルノ雑誌などの自動販売器は、撤去したり規制する方法を考えてみましょう。大人がしっかりとスクラムを組んで、早いうちに非行の芽を摘み取るようにしたいものです。

臨時市議会開く

工事の請負契約 など三件

緊急を要する議案を審議するため、二月十日、第百六十七回臨時市議会が開かれ、市長から提出された三議案をそれぞれ原案のとおり可決しました。可決された議案は、次のとおりです。

奥深井A地区道路改良工事の請負契約の変更について

この道路改良工事については、設計の変更を余儀なくされたので、工事請負契約の変更をするものです。

●変更前 七千万円

●変更後 一億二千九万一千円

二軒茶屋地区道路改良工事の請負契約の変更について

前議案と同様の理由によるものです。

●変更前 七千三百二十万

●変更後 九千六百九十五万五千

円

専決処分した事件の報告、承認

急務を要し議会を招集してその議決を得て執行するときは、時期を失すると認められたものです。

○昭和五十六年度大洲市一般会計補正予算(第六号)

コミュニティ推進大会

生きがいと連帯感あふれる地域に



130人の参加者で、熱心に討議がなされた
コミュニティ推進大会。

大会は、市内各地より地域のコミュニティ活動の推進者百二十人が参加し、二月二十六日午前九時半から、中央公民館で開かれました。

活の場とすることにあります。そのため、日頃の実践活動を通じて得た体験をもとにいろいろな問題を研究討議し、新しいコミュニティづくりの展開をはかるために開催されました。

「故郷（ふるさと）の足跡」発表者 横田 等さん（喜多）

よい地域はつくられると思ひ、アシス運動を強力に推進しています。この他、自分たちの生まれ育った地域をよく知るために種々な事業を実施しています。

- ▼山本朝一（大川） コミュニティづくり活動の推進。
- ▼平田吉久（八多喜） 地域文化の発展に寄与。

住みよい地域づくりをめざして、コミュニティ活動の新たな展開を図るために、昭和五十六年度大洲市コミュニティ推進大会が、二月二十六日、市立中央公民館で開催されました。

「故郷（ふるさと）の足跡」発表者 兵頭典次さん（八多喜）

この他に「地域に密着したJ.C活動（藤田和敏さん）、あたたかい地域づくりのための婦人会活動（西尾寿枝さん）、「地域に奉仕する老人と子供のコミュニティづくり（福住繁雄さん）」の実践発表があり、よりよいコミュニティづくりを誓い閉会しました。

- ▼城戸隆（久米） 地域のコミュニティリーダーとして活躍。
- ▼石村吉春（五郎） 地域伝統、歴史の伝承活動の推進。
- ▼清水視俊（平野） 地域社会の発展に寄与。
- ▼矢野寿春（菅田） 住みよいふるさとづくりの推進。

われしました。続いて、県立八幡浜高校教諭和田良誉先生の「ふるさとと私たち」と題した、ユーモアあふれる講演がありました。午後からは、国立青年の家の浦松辰信先生のレクレーション指導があり、続いて、各地域のコミュニティ推進者による「実践発表」が行われました。

コミュニティとは？

「コミュニティ」という横文字は「わからん、何だ」とよく言われます。「コミュニティ」という言葉は、もともと社会学の概念であり、適当な日本語がないため、一般的には、「近隣社会」「地域社会」「地域共同体」など色々な言葉に訳されています。

わたしたちの地域社会の問題を考えるのに、なぜ「コミュニティ」という仮名片を使っているのでしょうか。

「コミュニティ」生活の場において、自主性と責任を自覚した個人や家族を構成員とし、地域性と各種の共通目的をもった、開放的だけれども構成員相互に信頼感ある集団。

伝統的な地域社会においては、住民が連帯、協力して、自分たちを取り巻く諸問題を解決してきました。しかし、その中でも、自発性や個性が発揮しにくく、また、地域社会が単一の集団であり開放的でないという問題があります。時代、社会が急激に変化した現代、従来の地域社会の形態のままでは、理想的な形とはいえなくなりました。そこで、伝統的な地域社会の変革のうえにたち、自発性、自主性、開放性を備えた地域社会を「コミュニティ」と表現しているのです。

ようか。

新入学児の交通事故を防ごう

春の交通安全運動

4月6日から4月15日

大洲警察署管内では、今年にはいつてから、死亡事故重傷事故が連続して発生しています。それで三月一日から十日までの十日間、「注意しよう運動」（交通事故防止緊急対策）を実施しました。

また、四月六日から十五日までの十日間、全国いっせいに「春の全国交通安全運動」が繰り広げられます。

春の全国交通安全運動は広く県民に交通安全思想を普及徹底し、正しい交通ルールとマナーを習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的に展開されます。

今年度の重点目標は、次の四点です。



通学児童を交通事故から守りましょう

防止

一、自転車および原動機付自転車の安全利用の促進

二、安全運転の確保、特に無謀運転の防止

三、交差点3S運動の推進

四、重点目標の「一」の子供の交通事故防止について考えてみましょう。

子供の行動特性を知ろう

四月は、新学期をむかえ、新入学児が通学を始めます。新入学児は、それまでより行動範囲が広くなり、交通事故にあり可能性も高くなってきます。

子供を交通事故から守るには、どうすればいいか考えてみましょう。それには、まず、子供の行動特性を十分に理解する必要があります。

その具体的な例をいくつかあげてみますと――

▼子供は一つのことに注意が向くと、周りのものは目に人らなくなくなります。ボールが道路にころがり出すと、つい走り出すのもそのためです。

▼子供は物事を単純にしか理解できず、しかも自己中心的です。自分が黄色い旗をあげれば、車は必ず止まってくれるものと思いがちです。

▼子供は、応用的な動作ができません。いつも通る道では交通ルールは守れるが、知らない道では守れないことがあります。

▼子供は、大人や年上の子のまねをします。大人などが、誤った行動をすれば、それをまねします。

子供を交通事故から守るには、子供の特性を理解した上で、次のことなどを具体的に指導していくことが大切です。

▼新入学児などの場合は、親と一緒に通学路を歩き、信号などを具体的に教える。

▼登校時間に余裕を持たせる。

▼自転車を利用させる場合は、子供の体力、年齢、能力、周囲の環境を充分に考え、安全な乗り方を指導する。

子供の交通事故を防ぐには、以上の点などをよく考え、同時に、わが子の性格をよく考え、日常生活のなかで具体的に指導していくことが大切です。

固定資産税台帳の縦覧

4月1日～20日

固定資産税課税台帳の縦覧期間の変更につきましては、広報三月号でお知らせいたしました。昭和五十七年度固定資産税の課税のもとになる固定資産税課税台帳の縦覧を次のように行います。

昭和五十六年中に、家を新増改築されたかた、また、土地、家屋の相続、贈与、売買などで所有権に変更のあったかたは、あなたの資産が正しく登録されているかどうか、この機会に、ぜひ確認してください。

なお、この期間中は、課税台帳を無料で見ることが出来ます。

期間 四月一日～二十日

時間 午前八時三十分～午後五時

(ただし、土曜日の午後、日曜日は縦覧することができません)

場所 旧大洲町のかたは市税務課固定資産税係。

○連絡所管内のかたは各連絡所。

○納税組合に加入されていないかた、ならびに市外のかたは市税務課固定資産税係。

そのほか詳しいことは、市税務課固定資産税係へお問い合わせください。

☎ 2111内線 215

四月からの国民年金は前納できます

1カ年 61,130円

国民年金の保険料は、四月から五千二百二十円に改定されます。これは、年金制度を発展させ健全に運営するためです。

ところで、国民年金の保険料が

一か年前納できる制度をご存知でしょうか。この制度は、四月分から翌年三月分までを一括して前納するものです。保険料を、一か年分まとめて前納しますと、千五百十円が割引されて、六万一千三百円となり、大変お得です。

また、将来より高い年金を受けたいかたは、月四百円の付加保険料を納めることができます。

前納制度、付加保険料のご相談申し込みは、市民課国民年金係まで。

☎ 2111内線 295

“大洲市農地銀行”開店へ

農用地の有効利用めざして



農地銀行の看板を掲げる

大洲市では、二月一日に「大洲市農地銀行」を開店し、農地の有効利用を促進することになりました。

大洲市では、昭和五

十五年度から、「農用地高度利用促進事業」を進めています。この事業は、農用地の安心できる貸し借りを進め、地域農業の担い手農家への農用地の集積とその有効利用を目的としています。

農用地を三年以上貸し出された地主に対しては、過去三年間で約五百万円の、高度利用奨励金が交付されています。

農地銀行とは……

そこで、この貸し出された農地の適切な管理となお一層の農用地流動化を促進するために、二月一日に「大洲市農地銀行」を開店し、近く本格的な業務を行うことにな

- ①遊休農地の実態調査。
- ②農用地の売買や貸借希望農家の

りました。この銀行は、事務局を大洲市農業委員会に置き、次のような事業を行います。

大洲市農地銀行一覧表

銀行名	設置場所	支店長	支店長代理
大洲市農地銀行	大洲市農業委員会	(会長) 袖岡 光徳	(副会長) 玉木 宗三郎
〃 肱南支店	農協大洲事業所	山本 重春	押田 貞義
〃 肢北支店	〃 喜多 〃	尾上 昇	玉木 宗三郎 宮澤 西山 頼幸
〃 平野支店	平野 連絡所	谷本 道好	菊池 宗利
〃 南久米支店	南久米 〃	平塚 千秋	峯 乾一
〃 菅田支店	菅田 〃	大野 豊	西山茂穂・片岡勝弘
〃 大川支店	大川 〃	辰野 富朗	大野 幸徳
〃 柳沢支店	柳沢 〃	谷野 武志	山崎善広・亀本秀寿
〃 新谷支店	新谷 〃	池田 俊策	袖岡 光徳
〃 三善支店	三善 〃	鎌田 重政	岡田 継
〃 八多喜支店	八多喜 〃	梶岡 定朋	都築 長義
〃 上須戒支店	上須戒 〃	上田 喜重	長田 義徳

掘り起こしや紹介。農地の権利調整。

この他にも各種流動制度化の推進農地取得資金など各種制度資金農業者年金の特典や優遇措置の啓蒙・周知など農用地の有効利用を図るための総合的な業務を行います。

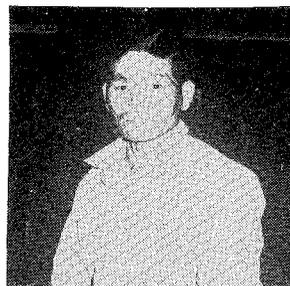
このために市内十一か所に支店を置き、地域の相談役として、表のとおり役員(農地流動化推進員)を委嘱しております。農用地のことについて、お気軽にご相談ください。

詳しくは、大洲市農業委員会、農業開発課にお問い合わせください。農業委員会

☎④2111内線219

2年連続養蚕農家

愛媛県一に



多田 吉良さん(53歳) 飼育しています。五月初旬から十一月中旬までの間に九回飼い、昨年は、四千七百キログラムの収穫をあげました。最盛期には温度の管理などで徹夜することもある。



十kg)そこそこのので、思い切った挑戦だと思えます。

毎年毎年、少しづつ規模の拡大を行い、当初の目標を達すことができました。次は、一トンの壁を破ることでした。一トンの壁を破った時の喜びは、表現のしようのないものでした。

昭和四十六年に、愛媛県蚕繭能力率経営競技会で三等をいただきました。これが私自身にとって、非常にはげみになりました。それ以

来毎年、何らかの形で賞をいただき、昨年今年と二年連続一等をいただいたのを含み、一等は三回、二等を三回いただいております。

この峠地区は、昔から水害の多い地域でしたので、野菜などの収穫が十分に望めないことなどから養蚕が盛んだったのですが、現在の地区での養蚕農家は六戸です。私としては、少し寂しい気もします。

現在、私どもでは、五百六十アールで桑を栽培し、年間百十箱(千百グラム)飼育しています。五月初旬から十一月中旬までの間に九回飼い、昨年は、四千七百キログラムの収穫をあげました。最盛期には温度の管理などで徹夜することもある。

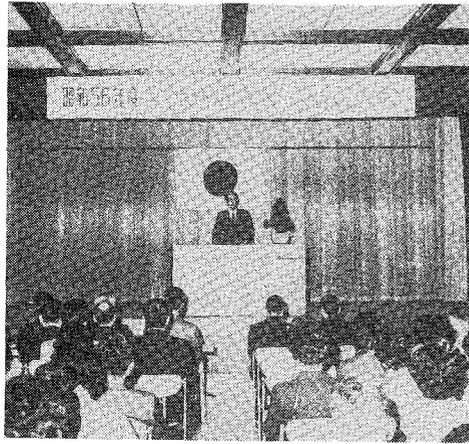
これからの目標としては、規模の拡大を図り、コストダウンを図っていきたいと思います。現在、手間のかからない平飼い(一段育)を行っていますが、もっと省力化できると思いますので、それがこれからの研究課題です。

私は、これだけしか生きる道がないのですから、これからも一生懸命に養蚕に打ち込み、立派な養蚕農家となるのが私の生きがいです。

差別解消をめざして

同和教育研究大会から

同和教育の質的向上と 量的拡大を



真剣な討議がなされた「同和教育研究大会」。

大洲市同和教育協議会主催の昭和五十六年度同和教育研究大会が二月二十三日、午前九時から市民会館で開かれました。この大会は国民的課題である同和教育の解決のため、市内各地から保育所、幼稚園、小中学校、社会教育の関係者約二百人が集まり、熱心な討議が行われました。

今大会の統一目標は、「市民みんなが取り組む同和教育」とし、同和教育の質的向上と量的な拡大を目指しています。開会式に続いて、教育委員会から、大洲市同和教育研究大会における研究討議を深めるために「基調提案を行いました。続いて、和田集会所指導事業運営の現状について」と題

して、集会所における運営の諸問題と学習内容の発表がありました。次に、各分科会に分かれ、それぞれの分科会で討議がなされました。

就学前分科会では、幼児をとりまく言語環境の改善と指導をどのように進めてきたか。

小学校教育分科会では、仲間意識を育てる集団づくりをどのように進めてきたか。

中学校教育分科会では、進路を保障する教育をどのように進めてきたか。

社会教育分科会では、すべての住民が同和教育に対する正しい認識を深める学習活動をどのようにして

のよい生まれ」といって尊敬したり、「生まれが悪い」といって、さげすむことはないでしょうか。

▼貧富の差 「貧乏人のくせに」といって低く見たり、金持ちだからといって威張ることはないでしょうか。

▼身体障害者の差別 「めくら」「ちんば」「かたわもの」といって蔑視したり、社会的に疎外していることはないでしょうか。また、精薄者、虚弱者を差別することはないでしょうか。

▼人種の差別 「くろんぼ」「朝鮮人」といって軽蔑したり、先進国の人だからといって、へつらうことはないでしょうか。(つづく)

桜まつり 3月27日に開幕

観光大洲の幕開け、「第三十四回桜まつり」は、三月二十七日から行われます。

城山公園、富士山の桜は、四月四、五日ごろ、八多喜祇園公園は四月二十日前後が見頃です。

主な行事は、次のとおりです。
3月27日 開幕式(11時)、城山公園

4月4日 素人のど自慢カラオケ大会(13時30分)、城山児童公園、福券入り紅白もちまき(16時)、城山児童公園

4月19日 観桜会(11時)、八多喜祇園公園

差別は生きている

〈事例9〉

ゆるしている「差別社会」

わたしたちの日常生活には、非科学的な生活態度や、差別的な考え方が混じっているため、みんなのしあわせを阻んでいる事実があります。

そのような事実は、習慣化しているために気がつかなかったり、気がついていても、仕方がないと思っ

たわけではありませんか。わたしたちの身のまわりにある

差別意識は、人びとの生活をゆがめ、住みにくい社会をつくっています。そんな意識が部落差別を

支えているのです。このことに気づき、きびしく反省しながら差別をなくしていくよう、みんなが努力しなければなりません。

では、どのような意識が好ましくないかについて、いくつか事例をあげてみましょう。

▼男女の差別 「女のくせに」と

は、由緒ある家柄である」「血統

は、由緒ある家柄である」「血統

は、由緒ある家柄である」「血統

は、由緒ある家柄である」「血統

は、由緒ある家柄である」「血統

は、由緒ある家柄である」「血統

市民のひろば



入学式

大洲市連合婦人会では、「手づくりのお手玉」を児童福祉施設に贈る運動を進めていたが、二月十九日、代表三人が大洲学園を訪れ、三百個のお手玉を届けました。



渡部婦人会長より300個の手作りのお手玉が、大洲学園生に

母のまごころを

連合婦人会手づくりのお手玉300個贈る

奥さん訪問

⑩

きれいな空気が なによりです

上須戒・猿谷 下岡 良子さん(37歳)

▼東京の世田谷の生まれです。父の仕事の関係で、北海道、島根、千葉で暮りました。
▼主人(旦那さん)とは、東京の職場で知り合い、昭和四十五年に結婚しました。子供は、長男の昇仁(十歳、小四)と長女の佳寿美

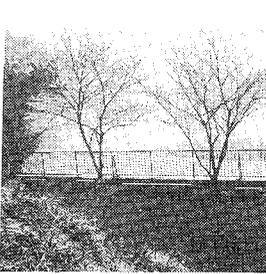
(七歳、小一)の二人です。
▼私は各地を転々としたが、この大洲というところは、自然が多く残っていますし、空気がきれいな方がいいですね。
▼学校の雰囲気がとてもよく、子供の育つ環境としては申し分ない

のですが、引つ込み思案にならない子供に育って欲しいですね。
▼上須戒という地区は、まだ少し閉鎖的なところが残っているような気がします。
▼この地区は、季節の変わりめが山々を見ていると感じられます。小京都というイメージがありますね。
▼主人は、やさしくて理解があり何もいうことありません。
▼家族のみんなが、健康で暮していくことが今一番の望みです。



二人の子供さんと

母親の愛情と手のぬくもりがまつているこのお手玉は、大洲学園で、園児の手先の運動や機能回復訓練に有効に利用されます。
大洲市連合婦人会では、今後もこの運動をさらに広げ、母親の手のぬくもりを一人でも多くの子供たちに届ける予定にしています。



立派に完成した鉄柵

善意のさくで 安全に!

柚木十九区の小西覚さん(七十六歳)の善意で、大洲神社裏参道下の広場に立派な柵(さく)が完成いたしました。これで、広場で遊ぶ子供達の安全が確保されました。小西氏が原材を提供し、地元の有志の労働力の奉仕によって周囲の景観をそこなうことのない柵ができました。
地元では、小西さんの意志を尊重して維持管理に努めることにしています。

新刊図書案内

日常の思想 梅原 猛著

続読書日記 江國 滋著

世界史への旅 大江一道他著

歴史の夜咄 司馬遼太郎・他

曙のイストラパード木村駿 他著

鉄道の旅 小 学 館

憲法読本 杉原泰雄著

日本人の生活時間 N H K

ことわざ大辞典 小 学 館

野鳥らぶぞでい 岩本久則著

生きる光と影の詩石田九州男著

最後の戦記 C・ライアン著

健康と料理

女子栄養大学出版社

川釣りのすべて 三木武夫著

海釣りのすべて 金子幸司著

オックスフォード・カラール

英和大辞典 福武書店

古典の読み方 谷沢永一著

流離譚 上・下 安岡章太郎著

江は流れず 上中下 陳舜臣著

蒲田行進曲 つかこうへい著

雨月 立松和平著

俺は先生 三好京三著

麦笛 増田みず子著

悪魔の飽食 森村誠一著

芥川賞全集 文芸春秋

北の国から 倉本 聡著

めげない男 塩田丸男著

リングワールド L・ニーヴン著

宇宙のランデヴー

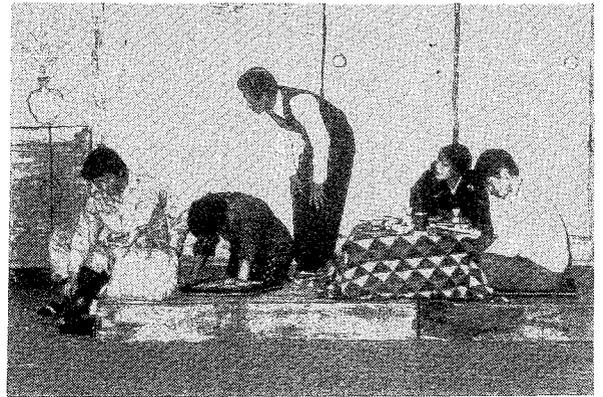
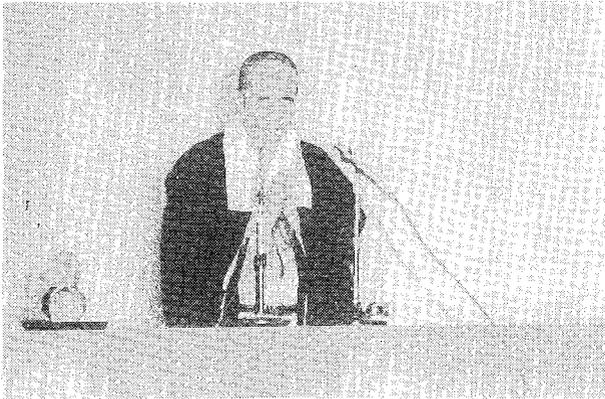
A・C・クラーク著

殉職 E・タイデマン著

▼親の姿と子の心

高田好胤管主、文化講演会で

青少年の健全育成をより推進するために、家庭教育の重要性をより認識してもらおうと「親の姿と子の心」と題して、2月16日市民会館において文化講演会が開かれました。奈良薬師寺管主高田好胤さんの自分自身の体験を交えた講演に800人あまりが熱心に耳を傾けていました。



▲舞台狭しと若い力
大洲市青年文化祭

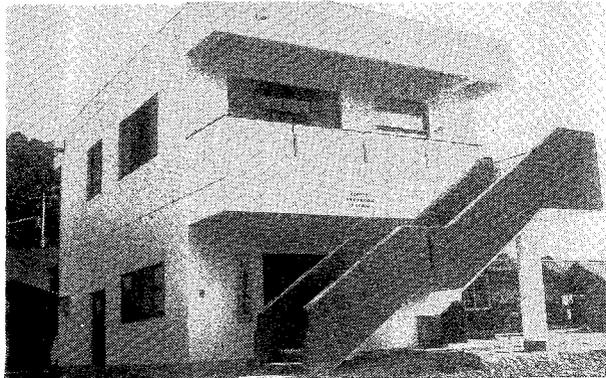
第10回大洲市青年文化祭が2日21日、市連合青年団などの主催で市民会館で開かれました。

踊り、劇、コーラス、紅白歌合戦と多彩な内容で、舞台からは、次の世代を担う青年の若い力があふれていました。会場につめかけた子供からお年寄りまでの盛んな拍手を受けていました。

▼コミュニティの推進に
如法寺集会所完成

柚木、如法寺地区に建設を進めていました、如法寺集会所がこのほど完成いたしました。集会所は、工業再配置促進費補助事業施設で、鉄筋コンクリート二階建、161㎡、建設費1,869万円で完成しました。

今後、この施設を利用して、コミュニティ活動がより強力に推進されるものと期待されています。



▶手づくりで暮らしを豊かに
手づくり食品推進研究会

地域の産物を利用して、農村らしい暮らしやすさを再発見しよう、二月十九日、大洲農業改良普及所などの主催で、大洲市農協で手づくり食品推進研究大会が開かれました。当日、各地の産物を生かした手づくり食品コンクールなども開かれ、ふるさとを見直す手づくり食品について考えました。



二月末までの
大洲市内の交通事故

	2月末 現在	昨年 同月	年 間
件数	23	13	
負傷者	33	22	
死者	1	0	

今年になって、交通事故の発生が増加しています。一人ひとりが、交通ルールを守り、交通事故の減少に努めましょう。

命の貯蓄体操推進大会
3月28日に

社教センターで

全国各地において、命の貯蓄体操が成人病や慢性病に効果があることが認められています。厚生省、地方自治体、国保連合会でも国民の健康づくりはこの体操を推奨しています。

生命の貯蓄体操大洲支部では市民の健康で豊かな生活を願う次の要領で推進大会を開きます

日時 3月28日 午前9時30分

場所 大洲市社会教育センター大ホール

講師 大久保定光(全国指導統制部長)

保健センターだより

☎43775

乳幼児 健診



実施日 該当者
 4月6日(火) 昭和56年12月生※
 4月8日(木) 昭和55年9月生
 4月13日(火) 昭和56年9月生※
 4月20日(火) 昭和56年4月生※
 4月27日(火) 昭和54年3月生

乳幼児のツ反・BCG

※は肱南・肱北地区のみ
 受付時間 13時30分～14時
 実施場所 大洲市保健センター

厚生連検診

実施日 地区 場所
 4月5日(月) 三善 連絡所
 4月6日(火) 南久米 〃
 4月7日(水) 蔵川 蔵川中
 4月8日(木) 大川 連絡所
 4月9日(金) 菅田 〃

対象者
 ・昭和55年10月1日から昭和56年9月30日までに生まれたかた。
 ・昭和53年4月1日から昭和55年9月30日までに生まれたかたで、生後一度も受けていないかた。
 ※母子手帳をご持参ください。
 地区 ツ反 BCG
 肱南 4月7日 4月9日
 肱北 4月14日 4月16日
 平野 4月13日 4月15日

休日急患診療

4月4日 4月11日 4月18日 4月25日 4月29日 5月2日
 いずれも 大洲中央病院
 ☎44551

時間 13時30分、ただし、平野 南久米、菅田、大川、柳沢、八多喜は13時、三善は14時。

場所 肱北、肱南は保健センター、八多喜は小学校、その他は各連絡所。
 南久米 4月20日 4月22日
 菅田 4月13日 4月15日
 大川 4月12日 4月14日
 柳沢 4月14日 4月16日
 新谷 4月13日 4月15日
 三善 4月21日 4月23日
 八多喜 4月21日 4月23日
 上須戒 4月28日 4月30日
 場所 肱北、肱南は保健センター、八多喜は小学校、その他は各連絡所。

まじころの おくりもの



金一封 大洲 片神 明利
 金一封 新谷 石丸 英雄
 金一封 東大洲 佐々木忠経
 金一封 五郎 山本善三郎
 金一封(寒行の一部) 西山根
 大洲市仏教会 中央分会
 金一封(原稿の謝礼) 若宮 高松まり子
 (指定配分)
 金一封(上須戒地区社協と市社協へ) 上須戒 上川 博
 金一封(柳沢地区社協へ) 柳沢 山崎 誠一
 金一封(大洲市交通安全協会と菅田地区交通安全協会へ) 菅田町 大野 命男
 以上、社会福祉事業のため預託していただきありがとうございます。
 大洲市社会福祉協議会

相談ごと案内

いずれも無料ですので、お気軽にご利用ください。

▶交通事故相談

とき 4月8日 10時～15時 (春の巡回交通事故相談)
 4月20日 10時～15時
 ところ 市役所第三会議室

▶人権相談

とき 4月20日 13時～16時
 ところ 社会福祉協議会事務局

▶心配ごと相談

とき 4月1日 13時～16時
 4月12日 〃
 4月26日 〃
 ところ 社会福祉協議会事務局

▶家庭児童相談

とき 毎日の執務時間中
 ところ 大洲市福祉事務所

▶行政相談

とき 4月17日 10時～15時
 ところ 大洲市民会館
 急がれる時は電話で相談してください。☎43794 (玉木)

▶社会保険相談

とき 4月20日 10時～16時
 ところ 大洲商工会議所
 担当 松山社会保険事務所

▶不動産相談

とき 4月15日 9時～16時
 ところ 宅地建物取引業協会大洲支部 (常盤町(株)フヂエダ内)

▶何でも相談

とき 毎日の執務時間中
 ところ 大洲隣保館 (東大洲) 大洲福祉会館 (新谷)
 秘密は守りますので、何でも相談してください。

休日の漏水修理

月 日	当番業者	☎
4月4日	西田水道店	6-0265
4月11日	浜田ポンプ店	4-3086
4月18日	星加鉄工所	4-0020
4月25日	三原設備	4-3783
4月29日	猪野水道工事店	4-2216 3-2813
5月2日	淳山水道工事店	4-2583



毎月、どのくらいの水量を使用されているかを調べるために検針にお伺いしています。メーター(量水器)の上に物など置かないように、また、近くで犬を飼わないようにお願いします。

後記

青少年の健全育成は、市民の願いです。一部の人の力ではどうしようもありません。市民一人一人が、力を合せ、この問題に取り組まなければなりません。市内で話題となっている人を紹介するため、ひと、を不定期で連載することになりました。(一)